

山岳遭難セーフティーカード

令和3年度「山岳遭難セーフティーカード」を作成しました。入山前のアドバイスや道迷い・事故が発生した場合の対処についての内容になっています。

また、登山を行う際は新型コロナウイルス対策をしっかりと行いましょう。

山岳遭難セーフティーカード

山岳遭難対策中央協議会

内閣府 警察庁 環境省 気象庁 消防庁 林野庁
 北海道 警務省 防衛省 スポーツ庁
 (独)日本スポーツ振興センター (株)NTT
 (株)良友日本 (公)日本スポーツ協会
 (公)日本山岳・スポーツクライミング協会
 <>太字は幹事会構成省庁・団体

入山前のアドバイス

水分補給で快適安全登山

たくさん汗をかく夏登山では、気付かぬうちに脱水になることがあります。脱水による熱中症や高山病、低体温症等のリスクを避けるために、

入山前に500mlの水分補給をお勧めします！
 脱水のシグナルは 排尿回数の減少です。
 3時間毎に排尿がなければ、体は「脱水状態」になっています。回復させるには最低でも500mlの水分を摂ってください。

何くらい飲み物を持って行けばいいですか？

必要な水分量は、**水分量の目安(ml) = 体重(kg) × 行動時間(h) × 5**の式で求めることができます。
 飲み物を購入できる山小屋や水場がどこにあるか調べておくことも大事ですよ。

何を飲めばいいですか？

汗 = 水分 + 塩分です。つまり、補給するのは水だけではなく、塩分(電解質)を含んだ経口補水液やスポーツドリンク等がお勧めです。

登山届はあなたの生命を守るザイルです

登山計画は必ず立て、登山届を提出しましょう。下山の報告も忘れずに。

スマホでも作成可能です。警察や自治体と連携しています。

全国山域の登山届は「コンパス」から！
<http://www.mt-compass.com>

気象情報・火山情報は、登山中もこまめにチェックしましょう。

気象庁ホームページ (気象情報・火山情報は)こちらから

登山でもコロナ対策を忘れずに

登山再開に向けてのガイドライン

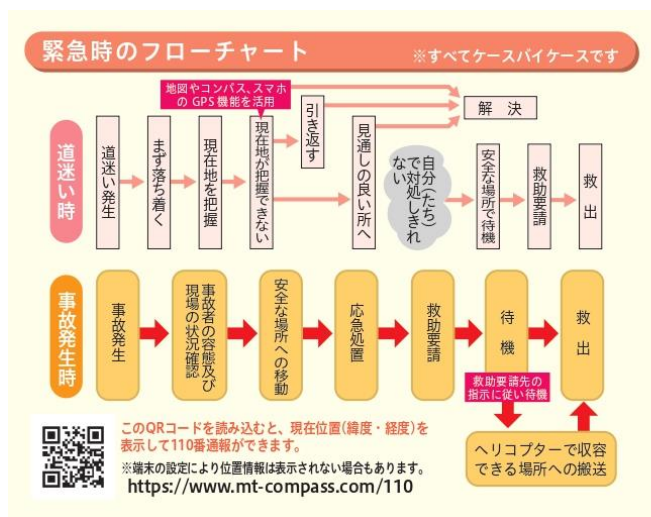
GPSや捜索用発信機等の携帯 山岳保険の加入も忘れずに

山の準備のなかに、体の準備も入れとかなと。

アミノバイタル パーフェクトエネルギー、アミノバイタル GOLD、アミノバイタル プロ

運動中に失われるたんぱく質。それを補う唯一の栄養素。登山。水。アミノ酸。アミノバイタル

「アミノバイタル」の商品情報はこちら



ファーストエイド

熱中症

日陰等涼しい場所へ避難し、衣服をゆるめて覆かせます。露出している手足に水をかけ、体温を下げましょう。水分と塩分を補給しましょう。

低体温症

夏山でも風雨にさらされることで起こります。小刻みに震えがくる(悪寒)段階のうちに温かい飲み物を飲ませ、濡れた衣類から乾いた衣類に着替え、暖かい場所に移動させましょう。

蘇生法

呼吸がない場合は胸骨圧迫をします。胸の真ん中を、約5cm沈み込むように強く、速く。1分間に100-120回。人工呼吸ができる場合は胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を組合せます。(自信がなければ胸骨圧迫を続けましょう)

(足首の)ねんざ

患部をできるだけ冷却し、固定します。

- 1 布(三角巾やタオル)を足の裏に当てる
- 2 アキレス腱を通過して前面にもってきた布を足首にまわしながら交差する
- 3 両端をそれぞれ、足首に巻いている布へ通す
- 4 両端を強くつま先の方へ引いて前面で結ぶ

止血

【直接圧迫止血法】出血部位にハンカチやタオルを当てて、直接圧迫します。
 【間接圧迫止血法】傷口より心臓に近い動脈(止血点)を手や指で圧迫して血流を止めます。感染予防のためビニール等を手に着用しましょう。

※折り畳み式になっておりポケットに収まるサイズ(約 8.5cm×5.5 cm)になっています。

独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所